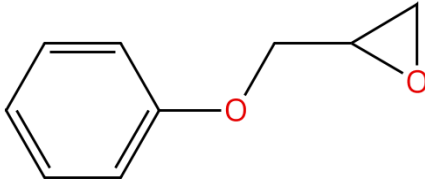


# 化学物質管理のための濃度基準値及び測定方法

No.2024\_122-60-1

物質名 (CAS)	2,3-エポキシプロピルフェニルエーテル (122-60-1)			
濃度基準値	八時間濃度基準値	0.1 ppm	短時間濃度基準値	—
物性等	分子量	150.17	構造式 	
	融点	3.5°C		
	沸点	245°C		
	密度	1.10 g/cm <sup>3</sup> (25°C)		
	飽和蒸気圧	0.01 mmHg (25°C)		
	飽和蒸気圧濃度	13 ppm		
	飽和蒸気圧濃度/濃度基準値	132		

SciFinder®: 厚生労働省. 職場のあんぜんサイト, GHS対応モデルラベル・モデルSDS情報.

## 測定方法の一例

以下に示す測定方法は、文献調査等を基に作成された一例であり、利用に当たっては、使用者が事前に確認を行う必要がある。

測定方法	
固体捕集方法ーガスクロマトグラフ分析方法	
文献情報	
タイトル	Phenyl glycidyl ether, Method No.1619
著者	NIOSH
資料名	NIOSH Manual of Analytical Methods (NMAM), 4th Edition
巻, 頁 (出版年)	Issue 1, 1994
備考	安衛研で脱着率、保存安定性、破過を確認したデータを採用した。
捕集	
サンプラー	球状活性炭捕集管
捕集流量	0.1 L/min
捕集時間	240 min
採気量	24 L
分析	
前処理方法	抽出/脱着溶媒: 二硫化炭素 1 mL 操作: 静置 60 min
分析方法	装置: ガスクロマトグラフー水素炎イオン化分析法 (GC-FID) カラム: 30 m×0.32 mm, (膜厚)0.25 μm (HP-5)

評価			
測定範囲	評価基準	1. 測定範囲が濃度基準値の1/10から2倍の範囲をカバーすること。	
	採気量	24 L(240 min)	定量下限 24 L
	濃度範囲	0.002~4 ppm	0.00083 ppm
	評価結果	○	
抽出/脱着率 又は添加回収率	評価基準	1. 濃度基準値の1/10の濃度で捕集剤からの脱着率や添加回収率が75%より良好であること。	
	濃度	0.01 ppm	0.2 ppm
	抽出/脱着率又は添加回収率	87%	91%
	評価結果	○	
保存安定性	評価基準	1. 濃度基準値の1/10から2倍において、捕集試料の冷蔵時の保存安定性が90%を超えること、または溶液試料としてその値を確保できることが推測されること。	
	濃度	0.01 ppm	0.01 ppm
	保存条件	室温、冷蔵ともに	室温、冷蔵ともに
	保存日数	5	12
	保存率	88%	83%
	評価結果	濃度基準値の1/10から2倍において、捕集試料の保存安定性が90%を超えるデータが示されていない。捕集後、速やかに測定すること。	
破過	評価基準	1. 濃度基準値の2倍の濃度で破過なく測定できる条件があること。	
	濃度	0.2 ppm	
	採気量	24 L	
	破過の有無	無	
	評価結果	○	
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リスク評価事業ではヤシ殻活性炭管を捕集剤としており、脱着率が低かった。</li> <li>・採用したNIOSHのMethodには低濃度のデータがなかったため、球状活性炭を捕集剤として検証を行い本個票の数値を得た。</li> </ul>		
測定上の注意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2,3-エポキシプロピルフェニルエーテルや使用する試薬についてラベルやSDSを最初に確認し、作業のリスクに応じてドラフト、適切な保護具の使用等のばく露低減対策を講じる。</li> <li>・2,3-エポキシプロピルフェニルエーテル、二硫化炭素は皮膚等障害化学物質であるため、作業手順に応じて適切な化学防護手袋を着用する。</li> </ul>		

その他の測定法

—